

# 北関東防衛局広報



編集・企画発行 | 北関東防衛局総務部広報室  
さいたま市中央区新都心2-1  
<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



陸上自衛隊古河駐屯地において国連用に白色塗装された油圧ショベル

## 目次

## CONTENTS

- 1 第21回防衛問題セミナー — 自衛隊の国際協力開始20周年 —
- 2 所沢通信施設の一部土地の返還
- 3 第53回ニューサンノー米軍センター地域連絡協議会
- 4 横田基地派遣クルーが人命救助の医薬品を空輸
- 5 横田基地オープンハウス
- 6 横田基地AAFESクリスマスパーティー
- 7 国連南スーダンミッション (UNMISS)
- 8 日米交流合同音楽会のお知らせ
- 9 第22回防衛問題セミナーのお知らせ
- 10 編集後記

# 第21回防衛問題セミナー

—自衛隊の国際協力開始20周年—



会場の様子



主催者挨拶



来賓挨拶

平成23年12月15日(木)、小山市立文化センター(栃木県)において、下条みつ防衛大臣政務官他をお招きし、第21回防衛問題セミナーを開催しました。今回のテーマは「自衛隊の国際協力開始20周年」と題し、講師からは自衛隊が取り組んできた活動の意義・成果、そして現場の体験などについて講話を頂きました。

講演に先立ち、主催者である北関東防衛局 鈴木良之局長が挨拶を行い、小山市長(代理 渡辺一男市民生活部長)から来賓のご挨拶を頂きました。

第1部では、下条みつ防衛大臣政務官から、1991年ペルシャ湾への掃海艇派遣以来、自衛隊が貢献してきた20年の国際協力の変遷など、PKO活動全般に亘る基調講演をして頂きました。

第2部では、第3次派遣海賊対処行動航空隊司令 清水雅彦 2等海佐(現職 統合幕僚学校教育課教務班長)から、現地のソマリア沖・アデン湾で直接任務に当たった実体験に基づく海賊対処行動について講話を頂きました。

会場には、セミナーを心待ちにされた大勢の方々が登場され、熱心に聴講されていました。質疑の時間では、聴講の皆様から活発なご質問が出され、防衛問題への関心の高さを窺うことができました。

今回のセミナーを開催するに当たり、小山市役所を始めとする多くの方々にご支援をいただき、大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。北関東防衛局では引き続き、機会を捉え、様々なテーマでセミナーを開催したいと考えております。



下条みつ防衛大臣政務官による講話



清水雅彦2等海佐による講話

## 所沢通信施設の一部土地の返還

所沢通信施設は、戦前は旧陸軍が使用し、戦後(昭和20年)、米陸軍が同施設(約300万㎡)を接收し、現在までに3次(昭和46年、53年及び57年)にわたって、施設の約7割にあたる約207万㎡が返還されました。その返還跡地は、公共施設及び教育施設等として多くの市民に利用されています。

現在の所沢通信施設は、横田基地の米空軍第374空輸航空団に所属する第374通信中隊による送信施設として使用されています。

所沢市は、所沢通信施設が市街地中央に位置しており、近隣住民は、通勤・通学や日常生活等において、同施設を迂回せざるを得ない状況にあり、市民生活に影響を与えていることから、当面の解決策として、東西連絡道路(市道)を整備するための用地の返還を強く要望されています。

これを踏まえ、防衛省としては、東西連絡道路用地の早期返還に向けて日米間で調整するとともに所沢市と鋭意調整を図ってきました。

平成23年10月14日、米側から返還条件が示されたことから、当局から所沢市に意見照会を行ったところ、同年12月26日に所沢市から異存がない旨の回答を頂きました。

今後、速やかに日米合同委員会において返還に向けた基本合意をするとともに、返還に伴う移設工事の実施に向け、所沢市と連絡を密にしながら取り組んで参ります。

東西連絡道路用地の返還が実現された場合、地域住民の方々の生活における利便性の向上が期待されます。



12月26日 回答文書を手交する藤本所沢市長(右)と鈴木北関東防衛局長(左)

## 第53回ニューサンノー米軍センター地域連絡協議会



カヴィル館長による紹介



窪企画部長による紹介

平成23年12月6日(火)、ニューサンノー米軍センターの健全な運営を図ることを目的として昭和58年から定期的開催されている地域連絡協議会の第53回会合が開催され、米側、地元町内会、当局の代表者等が出席しました。ニューサンノー米軍センターのカヴィル館長からは、近隣の方々を招いたお祭りや、都内の児童擁護施設の子ども達を招待したクリスマスパーティーなど、地元との交流が盛んに行われている様子が紹介されました。

当局を代表して窪企画部長から、同年3月11日に発生した東日本大震災における米軍及び自衛隊による救援活動の様子をスライドで紹介しました。地元町内会からは、「震災時の自衛隊と米軍の活動の様子が詳しく分かって良かった。救援活動に自衛隊と共に関わってくれた米軍に改めて感謝したい。」との感想が述べられ、カヴィル館長は、「私達も『Operation Tomodachi(トモダチ作戦)』から『ともだち』という新しい日本語を学びました。困っている人達が目の前にいたら助けたいという気持ちがあります。」と述べられました。

## 横田基地派遣クルーが人命救助の医薬品を空輸



写真:米空軍提供

平成23年12月14日(水)、第374空輸航空団第36空輸中隊が、ミクロネシア諸島のヤップ州ファイス島へ25箱の静脈内輸液(点滴液)の空輸を行いました。ファイス島では Dengue 熱の流行により医療品が不足しており、空輸された医薬品は感染者への医療措置に使用されます。今回の緊急任務は、ファイス島周辺が熱帯低気圧の影響による高波と強風で、物資の輸送が滞っていたため、ミクロネシア連邦政府が緊急空輸支援を米国防総省へ要請したことから実施されました。

米空軍によるミクロネシア諸島への人道支援活動任務「オペレーション・クリスマスドロップ」に参加するため米空軍アンダーセン基地(グアム)に派遣されていた第36空輸中隊が即応しました。

## 横田基地オープンハウス



写真右から  
北関東防衛局  
高岡次長  
フェザー大佐  
御夫妻  
横田防衛事務所  
中村所長

12月18日(日)、米空軍横田基地内の将校クラブにおいてオープンハウスが開催されました。

第374空輸航空団司令官 ポールE. フェザー大佐御夫妻が主催するオープンハウスは、日頃からお世話になっている方々を招いて親睦を深めようというもので、北関東防衛局からも出席しました。



会場の様子

## 横田基地AAFESクリスマスパーティー



12月21日(水)、米空軍横田基地内において、AAFES(エーフェス)のクリスマスパーティーが開催されました。

会場には、横田基地に勤務するAAFESの方々が集まり、年に1度のクリスマスパーティーを楽しみました。

パーティーには北関東防衛局横田防衛事務所からも出席しました。

写真右から、AAFES榎本さん、AAFESバットンGM、中村所長



会場の様子

※AAFES:在日米軍基地内に売店や食堂等を設置している「陸軍及び空軍エクスチェンジ・サービス(Army and Air Force Exchange Service)」の略称

# 国連南スーダンミッション(UNMISS)

南スーダン共和国が独立した平成23年7月9日以降、同国においては、平和と安全の定着及び南スーダンにおける発展のため環境の構築支援等を任務として、国連南スーダンミッションが活動しています。

自衛隊は、本年1月以降より部隊を順次展開し、第1次隊については約200名、第2次隊については約300名が派遣されることが決定しており、南スーダンの首都ジュバ及びその周辺地域で宿営地の整備、道路整備などの施設活動、警護を実施します。

12月14日(水)、陸上自衛隊古河駐屯地(茨城県古河市)の関東補給処において、同派遣に向けた事前準備(重機の白色塗装する模様)が報道陣に公開されました。

自衛隊は、軽装甲機動車、救急車、資材運搬車、発電機、通信修理車、野外フォークリフト等を塗装し、約160両を南スーダンへ輸送します。



12月19日(月)、陸上自衛隊宇都宮駐屯地(栃木県宇都宮市)において、同派遣に向けた測量や中型ドーザー等の重機を使用した訓練(道路整備などの施設活動)が報道陣に公開されました。

この訓練は、12月7日から22日までの間、宇都宮駐屯地において、中央即応連隊及び北部方面隊の隊員が、主に関係法令や衛生面等の「導入教育」、車両操縦や施設・通信等機材の取り扱い等の「個別訓練」、現地活動の手順、任務区分の検討、施設活動等の「部隊訓練」を実施していました。



## 日米交流合同音楽会のお知らせ

日時:平成24年1月28日(土) 13:00開場 13:30開演  
 場所:東京都羽村市生涯学習センターゆとろぎ(入場無料)

※詳細につきましては、今後、北関東防衛局ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

【問い合わせ】

北関東防衛局企画部地方調整課 TEL 048-600-1800(内線2715・2238)  
 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館



## 第22回防衛問題セミナーのお知らせ

### －東日本大震災における自衛隊の活動－

**第1部** 東日本大震災における自衛隊の活動・任務  
 東北方面総監部政策補佐官 須藤 彰

**第2部** 東日本大震災の被災地における自衛隊の活動  
 陸上自衛隊第12旅団第13普通科連隊長  
 (松本駐屯地司令) 1等陸佐 横山 義明

**会場** 長野県松本市中央公民館(Mウイング)ホール 定員300名  
 事前の申込みは必要ありません。  
 入場は無料です。御自由にお越し下さい。

**日時** 平成24年2月23日(木)  
 開場17:30 開演18:00 (20:00終了予定)

【問い合わせ】

北関東防衛局企画部地方調整課 TEL 048-600-1800(内線2252)  
 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館



## 編集後記

東日本大震災により被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

2012年という新しい年を迎え、皆さまにとって健康で、稔りある一年となりますよう祈念いたします。

北関東防衛局広報は、今年も充実した紙面をお届けできるよう取り組んで参ります。

右写真は、小笠原出張所岩崎所長撮影の「日の出」です。



撮影場所:小笠原父島(旭平展望台)